



町田市消費生活センター運営協議会の活動紹介



「運営協議会」とは

各消費関連団体と消費者問題に関心の高い市民から構成された「運営協議会」は、1975年のセンター開設当初から行政と二人三脚でセンターの運営に携わり、49年間の長きにわたり共に歩んできました。

現在「消費生活センター運営協議会」は市民のボランティアを中心に構成され、「学習企画部」・「テスト部」・「広報部」で活動を分担しています。

消費生活に関する基本的な知識や最新情報など、くらしに役立つ情報がたくさん詰まった講座を企画・開催しています。これらの情報は「消費生活センターだより」・「特集号」で皆さんにお届けしています。

学習企画部

学習会の企画及び運営を行っています。毎日の生活の中で、市民の皆さんが消費者として興味・関心のあることはどのような事を部会で話し合い、企画を練ります。テーマの決定から講師の選定、当日の運営まで全てに携わっています。

今年度は「残留農薬」「インターネット上のトラブル」「成年後見制度」といった内容の学習会を実施しました。



講座に参加された方々からの「とても良い内容だった」「参加して良かった」という感想が私たちの活動のモチベーションとなっています。

テスト部

実験・実習講座の企画及び運営を行っています。

「テスト教室」：身近な食品に含まれる塩分・糖分の測定や食品添加物・ビタミンCなどの検出をし、それぞれの役割を学びました。

「実習教室」：環境問題を学び、「地球にやさしいみつろうエコラップをつくろう」「ハーバルライフを楽しもう・化粧水作り」などを、体験しました。

「料理教室」：毎年大好評の国産大豆を使った「みそ作り」や夏休みに行った「親子で小麦粉・牛乳を使ってうどんを作ろう」など、地産地消・食品ロス削減などのSDGsに基づく学習と、楽しく実用的な調理実習をセットにしています。



うどん作り

広報部

毎月1回「消費生活センターだより」を発行しています。紙面作成の際は学習会、講演会、テスト教室などを取材し、その中から市民の皆さんに知っていただきたい情報を絞り込んでいます。「消費生活センターだより」は、市役所・市民センター・図書館など市の施設で配架しているほか、町田市ホームページからもご覧いただけます。また、「町田市消費生活センター運営協議会」ブログで活動内容をどなたでも手軽に見られるよう工夫しています。



センターだより QR

* * *

この他に、市内で活躍されている消費者団体・関係機関の皆さんと共に消費生活展「まちだくらしフェア」を毎年開催し、くらしに役立つ情報を発信しています。

また、私たち運営委員は現在、「二酸化炭素(CO₂)排出量」や「使い捨てラップ使用量」の実態調査を行っています。調査結果はくらしフェアの展示や、消費生活センターだよりを通じて、広く市民の皆さんにお知らせします。ぜひご覧ください。

(文責：広報部)

相談室 儲かるという投資に



ご用心！

その情報は本当？

最近の物価高騰や、給料や年金が上がらないなどの生活の不安からか、簡単に儲かるとうたった投資詐欺の被害が目立ちます。お金を払った相手と連絡が取れないなど、センターでは対応ができない相談が増えています。

《事例1》

高校生の息子（17歳）がSNSの広告で見つけた投資にお金を払ったようだ。個人名義の銀行口座に合計60万円を振り込んだ。警察に相談したが、何もできないと言われたとのこと。相手の連絡先はわからない。お金は戻らないのか。（40代 女性）

《事例2》

有名芸能人が対談番組で「ある投資で何もしなくても勝手に儲かっている」と話したというインターネットの広告を見た。自分もやってみようと思いクレジットカードを連携する手続きをしたが、できなかった。すると事業者から電話があり、別のプリペイド決済サービスで登録するよう指示され不審に思った。同じような苦情はないか。（70代 女性）

《事例3》

電話で勧誘され暗号資産が値上がりするから送金するよう言われた。元金と同額のボーナスが付くので元金をすぐにおろせば損はない。後は0.03%の利息が付くので値上がりを待つだけだと説明された。SNSでやり取りし、30万円分の暗号資産を送金し、次に35万円の暗号資産を送金した。元金を下ろそうとしたらできなかった。（70代 男性）

《アドバイス》

事例1は未成年者契約の取り消しが主張できる事例ですが、相手が分からないので交渉できません。

事例2はセンターでは事業者の信用性についてはわからないことを伝え、ネット上で確認したところ、当該芸能人が「投資話に勝手に名前を使われている」と注意喚起のコメントを出していたので、関わらないよう助言しました。

事例3はおそらく詐欺と思われることを伝え、投資被害弁護士集団を案内しました。最近は、老後資金や生活資金をつぎ込んだなど高額な被害も見受けられます。儲け話にはくれぐれもご注意を！

掃除中の転倒・転落事故に

気を付けて！

事例 脚立に上って、団地内の掲示板の屋根を掃除していたところ転落し、救急車で運ばれ入院した。頭を打ったようだ。（60歳代男性）

助言

○転落事故の防止には、まず転落の危険を回避することが大切です。脚立やはしごを使用する際は、安定した足場に置き、片方の手で固定された家具などにしっかりつかまるなど、慎重に作業しましょう。

○小さな段差など、つまずきの原因になりそうなものをできるだけなくし、足元が見えづらい場所には明るい照明器具などを増やすなど転倒を防止する環境を整えましょう。

○高齢になると、筋力や平衡感覚などの身体的機能が低下し、また、骨折しやすくなる傾向があります。届くと思ったところに届かずバランスを崩して転落することもあります。無理な作業は控えることも大切です。

（国民生活センター見守り新鮮情報第439号より）

《消費生活センター ホール講演会のお知らせ》

「このままでいいの？畜産動物の過酷な(?)一生」

2月23日(金・祝)午後1時~3時 町田市民フォーラム3階 ホール

ふだん食べている卵や肉などが、どのような環境で飼育されている畜産動物からうまれているか考えてみたことはありますか？ゲージ飼いの鶏と放し飼いの鶏、卵や肉の品質に違いはあるのでしょうか？鶏にストレスはかかっているのでしょうか？

この講演会では、畜産動物が飼育されている環境や、食卓に来るまでの過程を見ながら、食の安全と畜産動物の飼育環境について考えます。ぜひお越しください。

【お申込み先】町田市イベントダイヤル 042-724-5656

【お問合せ先】町田市消費生活センター 042-725-8805